

ゼロ・ウェイストの導入による 北インド・ウッタラーカンド州 生物圏保護区の環境保全

ひろげる助成

2年目

実践

ゼロ・ウェイスト
研修実施 12回

資源化堆肥化された
ごみ量/日 150kg

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 60%



地元女性に対するゼロ・ウェイスト製菓研修

活動内容と成果

2年目の本年は、ウッタラーカンド州のジム・コルベット生物保護区の村パウルガルをモデル地区とし、地元住民及び宿泊施設向けに、幾度にもわたる研修を実施し、宿泊施設のゼロ・ウェイスト化に取り組んだ。これまでごみ処理が皆無であった同地において、コミュニティ主導のゼロ・ウェイスト推進計画がはじまり、資源化および堆肥化の運動が高まりをみせている。また、地域の女性を対象とした製菓研修を実施し、外部からの袋菓子に頼らないゼロ・ウェイストの菓子を製造販売することで雇用と利益を生み出すスキーム作りも進めている。



宿泊施設における生ごみ堆肥化

課題

北インドの生物保護区では、宿泊施設や観光客が河川や森林にごみを常習的に投棄し、生態系が脅かされている。廃棄物処理法の執行も進んでおらず、解決の糸口がみられない。

目標

ゼロ・ウェイストを基本とする持続可能なごみ処理について啓発を進め、地元当局との協働の中でいくつかの成功モデルを作り出し、広範囲への敷衍を目指す。



今後の
展望

1年目及び2年目で2つの成功事例を実現することができた。地元主導で、低所得者層の雇用も含めた社会経済的にメリットのある方式の確立を目指しており、3年目は他地域への敷衍を目指したい。

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

住民の教育的水準が低く、ゼロ・ウェイストの概念がない地において、その理念をコミュニティ主導の推進活動につなげること。

■工夫した点

核となる協力的な宿泊施設を軸として、住民への啓発や交流の機会を設けた。戸別訪問を含むきめ細やかな働きかけを実施した。

活動地域 |  インド

238, Sidhartha Enclave
New Delhi India
電話 : +91-11-2984 2809
E-mail : info@chintan-india.org
<http://www.chintan-india.org/>

